

長野県森林づくり県民税の活用状況等について

森林政策課

1 令和6年度事業の執行状況

令和6年度の長野県森林づくり県民税（以下「森林税」）活用事業の執行額※は、660,705 千円（執行率 86%）であった。

（直近5年間の年度別森林税執行状況）

（単位：千円）

	第3期			第4期	
	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
予算額	1,115,562	992,341	693,970	624,870	768,584
執行額	1,044,952	960,972	614,056	489,954	660,705
執行残額	70,610	31,369	79,914	134,916	107,879
予算執行率	94%	97%	88%	78%	86%

※執行額は翌年度への繰越額も含めて計上

2 令和6年度事業の取組状況

（1）概ね目標を達成した取組

「県民が広く親しめる里山づくり」、「森林サービス産業などの森林の多面的利用の推進」、「広く県民が利用する施設等の木造・木質化」など、県民の皆様が森林とのつながりをより深めることを目的とした取組などにおいて、概ね目標を達成。

（主な事業の目標と実績）

数 値 指 標	R6 目標	R6 実績
県民が広く親しめる里山整備利用地域の数	10 箇所	13 箇所
森林サービス産業の創出取り組む地域プロジェクト数	10 プロジェクト	10 プロジェクト
木造・木質化等の箇所数	11 箇所	12 箇所
鳥獣被害防止のための緩衝帯の整備箇所数	38 箇所	37 箇所



美容室の木質化の事例（安曇野市）



森林サービス産業の取組事例
（森林利活用コーディネータ育成研修等）

（2）目標の達成に向け強化が必要な取組

第4期森林税から取り組む「再生林の加速化」は、カラマツの多い東信地域で進んでいるものの、地形や樹種による収益性などに地域差があるほか、主伐・地拵え後の植栽が翌春に行われる箇所も多く、再生林面積は目標値を下回った。

また、防災・減災のための里山の整備（間伐）を推進する「みんなで支える里山整備事業」では、事業の周知不足や森林所有者との協定締結の遅れにより、実績が目標を下回った。

これらの事業については、県下各地域で事業者向けに説明会を開催、事業周知のほか意見交換を行うなどし、制度活用に向けた取組を進めている。

加えて、再造林に向けた保育作業の担い手の確保、施業の省力化・効率化にも取り組んでいる。

(再造林の加速化及び防災・減災の里山の整備の目標と実績)

数 値 指 標	R 6 目 標	R 6 実 績
再造林面積（再造林の加速化）	420 ヘクタール	238 ヘクタール
間伐面積（防災・減災の里山整備）	400 ヘクタール	177 ヘクタール



人工造林・初期保育（植栽・下刈り等）の実施

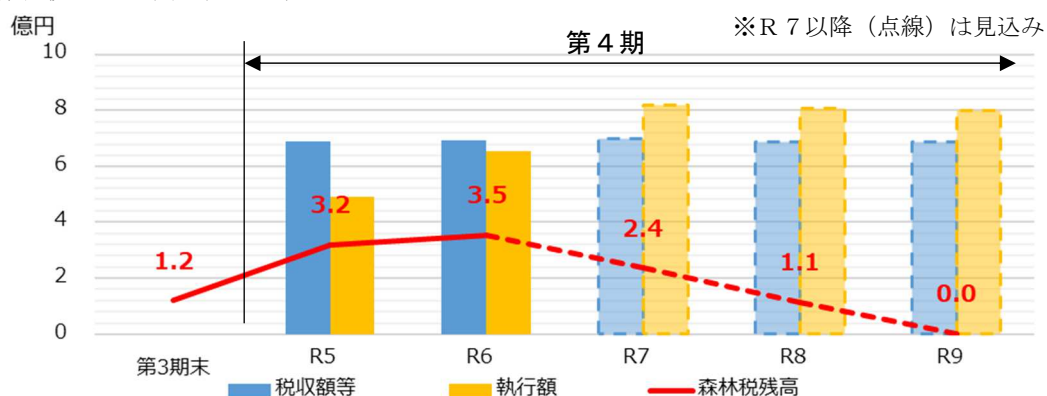


防災・減災のための里山の整備（南木曽町）

3 森林税残高の推移

令和6年度の森林税残高は、前年度から微増し、約3.5億円となった。残高は、段階的に増加させていく再造林など数値目標に達していない事業や、より効果を高める必要のある事業に活用していく。

(森林税基金残高の見通し)



4 令和7年度の予定

第4期森林税（令和5～9年度）が開始されてから2年が経過し、上記のとおり進捗に遅れが出ている事業のほか、目標は達成しているものの、より事業効果を高めた方がよい事業もある状況。

5月に開催した県民会議では、現状の十分な分析やボトルネックの把握に努めるようご意見をいただいているところ。

今年度は、県民会議での意見も踏まえながら、森林づくり県民税の基本方針を見直すなどし、各事業の成果をより高めていく。

(スケジュール)

- 令和7年5月22日 第1回みんなで支える森林づくり県民会議
 - ・現状や課題に対するご意見（基本方針の一部見直しの方向性）
- 令和7年8月頃 第2回みんなで支える森林づくり県民会議
 - ・現地視察
 - ・森林づくり県民税に関する基本方針の見直し案について
- 令和7年11月頃 森林づくり県民税に関する基本方針改正